

YA 人気シリーズ新刊

「ちくまプリマー新書」シリーズ 筑摩書房

あらゆる分野の入門書がそろっています。何か気になるテーマがあれば、まずは「ちくまプリマー」から読んでみましょう。

『英語バカのすすめ』横山雅彦/著 Y830.7/ヨ

『子どもたちに語る日中二千年史』小島毅/著 Y319.1/コ

『科学の最前線を切りひらく!』川端裕人/著 Y404/カ

『伊藤若冲』辻惟雄^{のり}/著 Y721.4/ツ

『「さみしさ」の力』榎本博明/著 Y371.4/エ

「なるには BOOKS」シリーズ ペリカン社

多種多様な職業や学部、それぞれを目指す人に向けて書かれたシリーズです。興味のある職業や学部の本を手にとってみてください。

『福祉業界で働く』戸田恭子/著 Y369.1/ト

『薬剤師になるには』井手口直子/編著 Y499.0/イ

YAブックリスト第42号

令和2年6月発行

稲城市立中央図書館 稲城市向陽台 4-6-18

電話：042-378-7111 FAX：042-378-7162

<https://www.library.inagi.tokyo.jp>

稲城市立図書館

ヤングアダルト

BOOK LIST



VOL.42

ことばを使って

言葉を使って、気持ちを表すことや、物事を人に伝えることができます。その言葉は、どのように生まれ、どのように使われてきたのでしょうか。普段当たり前に使っている“ことば”について、考えてみませんか？

『ぼくがゆびをぱちんとならして、きみがおとなになるまえの詩集』
齊藤倫/著 高野文子/画 福音館書店 Y911.5/サ



ぼくの家いきみがやってくる。本の山から選んだ詩を、きみに教える。この本は、そのくりかえしで進んでいきます。「ひとは、ことばをつくって、ところを、あらわそうとした。それでも、あらわせないものが、詩になった」詩とは何か、そしてことばとは何かを、20篇の詩を通して教えてくれます。私たちも、きみと一緒に教えてもらいましょう。

『ことばの恐竜』 最果タヒ/著 青土社 914.6/サ

詩人であり小説家でもある著者の対談集です。対談相手は、作家や作詞家、俳優など、ことばを扱う職業の人たちです。著者を含む9人が、どのようにことばと向き合ってきたのかがわかります。

ことばを学ぶ

『ことばおてだまジャグリング』

山田航/著 文藝春秋 807.9/ヤ

子どもの頃に読書は嫌いだが国語辞典が好きだった歌人が、ことばで遊ぶ方法を書いています。しりとり、なぞなぞ、回文。誰もが子どもの頃に遊んだことのあるゲームが、実は奥が深く、永遠に遊んでいられること、そしてことばの面白さを教えてくれます。

『ことばの宇宙への旅立ち』

大津由紀雄/編 ラボ国際交流センター Y801/オ

『大人になって困らない語彙力の鍛えかた』

今野真二/著 丸山誠司/イラスト 河出書房新社 Y814/コ

『くらべてわかるオノマトペ』

小野正弘/著 東洋館出版社 814/オ



文字

『タイポさんぽ改』

藤本健太郎/著 誠文堂新光社 727.8/フ

著者が各地で撮影した、昔懐かしい看板・張り紙・商品ロゴなど。規格化された文字ではない、味わいある個性あふれる文字（タイポ）たちが、ユニークな解説とともに紹介されています。写真集のようなエッセイのような…見て面白く、読んで楽しい一冊です。

『字が汚い！』

新保信長/著 文藝春秋 728.9/シ



歴史

『中高生からの日本語の歴史』

(ちくまプリマー新書)

倉島節尚/著 筑摩書房 Y810.2/ク

日本で生まれ育つと当たり前に使っている“日本語”がどのように生まれ、時代とともに変わってきたかを学ぶことができます。音声を記録できない時代の発音についても調べられていて、研究の力に驚きます。

『漢字の歴史』(ちくまプリマー新書)

笹原宏之/著 筑摩書房 Y811.2/サ

ショートショート

『ショート・トリップ』 森絵都/作 長崎訓子/画 理論社 Y913.6/モ

「毎日中学生新聞」に連載されていた、旅をテーマにしたショートショート集です。クスツと笑えるものから、考えさせられるものまで…。ここではない、どこかのお話が40編。不思議な旅の世界に出かけて、非日常を味わってみませんか。

『E高生の奇妙な日常』

田丸雅智/著 角川春樹事務所 913.6/タ

E高の生徒や教師を中心に起こる、不思議な出来事の数々。「問題をとく」「同窓会」「穴埋め問題」といった一見普通のことが、奇妙な世界へと連れて行ってくれます。ショートショートは、普段本を読まない人にもおすすめです。



物語

『窓』 小手鞠るい/作 小学館 Y913.6/コ

中二の窓香のもとへ突然届いた一冊のノート。そこに書かれていたのは、生前の母が窓香へ宛てた手紙でした。離れて暮らす母が、一人の人間として生きた姿を、窓香はノートの言葉から知ります。本当の自分を出せずにいた窓香が変わっていく物語です。

詩歌

『大人になるまでに読みたい15歳の詩』シリーズ

ゆまに書房 Y908/オ

テーマごとに様々な詩が集められています。好みの詩や詩人と出会うために、シリーズを通して読んでみてください。

『しびれる短歌』(ちくまプリマー新書)

東直子/著 穂村弘/著 筑摩書房 Y911.1/ヒ

『バウムクーヘン』

谷川俊太郎/著 ナナロク社 911.5/タ